

## 「ツタヤ図書館」の資料区分を検証する その8 —延岡駅前「エンクロス」内の図書空間を考える—

Verify the TSUTAYA Classification, Part8 : Based on  
Books Space in “Encross”, Nobeoka City

川瀬綾子<sup>†</sup> 北克一<sup>††</sup>

KAWASE Ayako<sup>†</sup> KITA Katsuichi<sup>††</sup>

**要旨**：TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(CCC)が公立図書館の運営を担い5年が経過した。そして、2017年4月1日に、JR延岡駅前に建設中の複合商業施設「エンクロス」内に図書室(仮称：蔵書2万冊程度)が開室予定であった。しかし、新市長は「エンクロス」委託運営の費用対効果費を検討のため、「エンクロス」オープン延期を表明した。一方、市議会では関連条例改正案が否決、市長は「エンクロス」事業継続要請を受け入れた。

本稿では「序章：延岡駅前図書室(仮称)の開館延期騒動」において、この「エンクロス」開館中止/続行問題を整理する。

そして、2017年4月13日に第6の「ツタヤ図書館」ともいえる「図書空間」(蔵書2万冊程度)が、JR延岡駅前の複合施設「エンクロス」内にオープンした。「エンクロス」は、「市民活動でまちの中心に、にぎわいを創る」を基本コンセプトに据えた複合施設である。この施設全般の企画・運営をCCCが担っている。

本稿では、この「エンクロス」内に設けられた「図書空間」の特徴について、過去の5館の「ツタヤ図書館」と運営コンセプトにおいて大きく異なる点につき論じる。

**キーワード**：ツタヤ図書館、カルチュア・コンビニエンス・クラブ、エンクロス、延岡市  
**Keywords**：TSUTAYA Library, Culture Convenience Club, Encross, Nobeoka City

### 1. はじめに

TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(増田宗昭代表取締役社長兼CEO；非上場；以下、CCC)が公立図書館の運営を担い5年が経過した<sup>1</sup>。

2013年4月の佐賀県武雄市の武雄市図書館<sup>2</sup>を皮切りに、2015年10月に神奈川県海老名市の海老名市立中央図書館<sup>3</sup>が「ツタヤ図書館」としてリニューアルオープンしている。また、宮城県多賀城市の多賀城市立図書館(本館)<sup>4</sup>は駅前に移転し、第三の「ツタヤ図書館」として2016年3月21日に開館した<sup>5</sup>。さらに、2017年2月4日にはJR備中高梁駅隣接の複合施設中に、高梁市図書館が新規開館し<sup>6</sup>、2018年2月3日に第五の「ツタヤ

図書館」となる周南市立徳山駅前図書館が開館した<sup>7</sup>。第六の「ツタヤ図書館」は、JR延岡駅隣接の複合施設「エンクロス」内に、蔵書2万冊程度の小規模の「図書空間」として、2018年4月13日にオープンした<sup>8</sup>。

また、「ツタヤ図書館」の開館準備中のところには、和歌山県和歌山市などがある<sup>9</sup>。

本稿では、この「エンクロス」内部にオープンした「図書空間」の特徴について、過去の5館の「ツタヤ図書館」と運営コンセプトにおいて大きく異なる点につき論じる。

### 2. 複合施設「エンクロス」

複合施設「エンクロス」は、1,659.54 m<sup>2</sup>の規模で、開館時間は午前8時から午後9時まで(待合スペースのみ午前7時半から開館)し、年中無休で運営している。

<sup>†</sup> 京都外国語大学等

<sup>††</sup> 大阪市立大学

「エンクロス」は基本コンセプトとして、「新しく自由のあるまち」、「市民活動でまちの中心に、にぎわいを創る」<sup>10</sup>を掲げている。

「エンクロス」は2階建てで、1階に待合スペース、情報発信スペース、キッチンスペース、キッズスペース、カフェ(スターバックスコーヒー)、蔦屋書店、地域物産販売を配し、2階に図書閲覧スペース、待合スペース、市民活動スペース、蔦屋書店を置く。

「エンクロス」の概要や運営コンセプトは、同施設のサイトの「よくある質問」を参照すればはっきりとする<sup>11</sup>。以下に、「よくある質問」での列挙項目を引用で示し、必要な諸点に関して順次検討を行う。

延岡市駅前複合施設エンクロスに関する質問  
貸出について  
資料の紛失・汚破損等について  
資料の探し方について  
資料のリクエストについて  
寄贈について  
複写サービスについて  
お身体が不自由な方へ  
視察について  
その他

## 2.1 延岡市駅前複合施設エンクロスに関する質問

「延岡市駅前複合施設エンクロスに関する質問」の項目では、エンクロスへのアクセス、駐車場・駐輪場情報、開館日時などが示されている。開館は通年無休で、午前8時から午後9時まで(\*1階待合スペースのみ午前7時30分から)である。

建物内のテナントは、蔦屋書店、スターバックスコーヒーを挙げている。

また、2階には学習優先席があることや、約100席の電源使用可の席や館内 Free Wifi なども広報している。

特徴的なのは、次の問いとその答えである。引用で示す。

問 延岡市駅前複合施設エンクロスにはどのくらいの本がありますか？

答 エンクロスの館内には約2万冊の図書資料と、約2万冊の書店在庫がございます。

第一に、「延岡駅前エンクロス内図書室」ではない、という位置づけである。エンクロスには、「約2万冊の図書資料」及び「約2万冊の書店在庫」が存在すると答えている。

「約2万冊の図書資料」は延岡市立図書館網の資料、蔵書ではなく、あくまでエンクロス内部の「図書空間」の資料である。一方、「約2万冊の書店在庫」は蔦屋書店の商品である。この2者は区分がされているが、「エンクロス内の本」という括りでは、等価な存在として意識されている。

## 2.2 貸出について

貸出については、問、「館内の資料は借りることができますか？」に対する答、「いいえ。閲覧のみです。」でより明確になる。「図書空間」の資料は「自由に閲覧いただけます。」であり、閲覧限定の利用法で運営している。

なお、資料については「エンクロス」内の全体に持ち出しが可能である。逆に、「図書空間」の物理的スペースを図書室として区切っていない。

さらに「資料の探し方」については、簡易 OPAC の説明をすると共に、簡易レファレンス機能は、2階市民活動カウンターのスタッフへの問い合わせを行うように紹介している。

ちなみに市民活動カウンターは、「エンクロス」を使用した市民諸活動の登録手続き、「エンクロス」施設の利用受付、HP「つながり」よっての活動紹介などが主担業務である。

簡易レファレンスは、「尋ねられれば、一応、レファレンスをしますが...」、という程度の業務位置づけである。なお、市民活動カウンターの業務説明には、この簡易レファレンスについての記述はない。

## 2.3 資料のリクエストについて

延岡市立図書館資料の取り寄せ、予約等に関しては、問、「延岡市図書館の本を借りることはできますか？」に対して、答、「いいえ。お手数ですが延岡市立図書館までお願いいたします。」と示し、明確に否定している。当然、宮崎県内図書館との

連携サービスもない。

なお、「延岡市立図書館」の文字列にリンクが張られている<sup>12</sup>。

一方、新しい資料の希望購入については、「新しい資料を要望によりいれてもらうことはできますか？」という問いに対して、「スタッフまでお問い合わせください。」とこのように資料のリクエストについては、ほぼ「ゼロ回答」である。

## 2.4 寄贈について

寄贈資料の受け入れについては、問、「本などを寄贈したいのですが、どうすればいいですか？」に対して、答、「エンクロスでは寄贈は受け付けておりません。延岡市立図書館へご相談ください。」と、延岡市立図書館を紹介するに留まる。

寄贈を受け入れれば、所蔵登録、書誌作成、資料装備、所在場所入力、配架などの一連の業務が発生する。「エンクロス」では、資料寄贈は謝絶しているため、こうした業務は生じない。

## 2.5 複写サービスについて

複写サービスについては、問、「館内では、コピーはできますか？」に対して、答、「近隣のコンビニエンスストアをご利用ください。」である。

ここには著作権の尊重への啓蒙意識は認められない。なお、資料の撮影はご遠慮ください。」と回答している。

しかし、閲覧利用のみに限定している資料について、どのようにすれば「近隣のコンビニエンスストアをご利用」できるのであろうか。さらに、「資料の撮影はご遠慮ください。」と制限していることから、スマートフォン等による「写メ」も禁止している<sup>13</sup>。

## 2.6 その他

その他、「エンクロス」での展開内容を簡単に挙げておく。

待合スペースは、JR 延岡駅、宮崎交通バスターミナルの利用者向けのスペースである。

飲食については、館内のカフェ(スターバックス コーヒー)で購入のドリンク・軽食は「エンクロス」内は、フリーである。持ち込みの水筒やペットボトルも OK としている。特色があるのは、キッズ

スペースでは、平日の 12 時から 13 時までは「お弁当タイム」として、持ち込み食事も可能となっており、面白い試みである。

また、「延岡 100 マイルプロジェクト」して、「地域物産品コーナー」では、『自分の居住区から半径 100 マイルで生産されたもの』で、生活するライフスタイルを提案している。

ただし、現在は情報提供者を募集中であり、実際のコンテンツはない<sup>14</sup>。

なお、延岡市の HP のトップページに、「駅前複合施設「エンクロス」ご利用の皆様へ(駐車場のご案内)」と「エンクロスのホームページはこちらです。」というリンクがある。

## 3. 複合施設「エンクロス」2階の図書空間

複合施設「エンクロス」内の「図書空間」の資料配置を館内マップ<sup>15</sup>で確認しておく。

「エンクロス」の 2 階は、左ウイングに待合ラウンジが配置されている。その右の通路を経て、蔦屋書店を配置している。書店空間の右側に市民活動カウンターを配置している。そして、一番右ウイングに「図書空間」がある。なお、館内マップでは、「閲覧図書」と表示している。

この表示は空間に対する名称ではなく、そこにある資料一事物の説明であり、違和感がある。

### 3.1 「図書空間」の資料

「図書空間」の資料の分野を見ておこう。なお、この分野は館内マップで表示している分野名であり、「ツタヤ分類」の大ジャンルの名称でもある。建物の左側からの列挙で示す。

アート、ファッション、児童書、スポーツ アウトドア、料理、趣味・実用、健康、住まいと暮らし、語学・IT がそれである。

まず「図書空間」の資料分布の偏りに気が付く。一般的な公立図書館の資料分野と比較して、大きな分野の偏向がみられる。

ここで海老名市立中央図書館から周南市立図書館までの 4 館の「ツタヤ図書館」で採用されていた「ツタヤ分類」と比較を試みる。なお、表 1 の大ジャンル 29 区分の中で、「エンクロス」館内マップの表示名称を太字で示した。

表 1 海老名市立中央図書館等の大ジャンル  
29 区分

料理	政治・国際
旅行	社会
住まいと暮らし	法律
美容・健康	IT
ファッション	自然科学
スポーツ・アウトドア	産業
趣味実用	技術
人文	建築
児童書	医療・看護福祉
語学・参考書	教育
文学・文芸書	雑誌
歴史・郷土	コミック
アート	洋書
経済	AV 資料
ビジネス	

このように「図書空間」の資料分野は偏っている。確かに、比較対象とした海老名市立中央図書館等と比べると、「エンクロス」内の「図書空間」は面積が相当に狭い。しかし、例えば一般的な公立図書館の蔵書の大きな部分を占める文学・文芸書が館内マップにはなく、違和感が残る。

なお、AV 資料については、館内マップに表示がないものの、別途、「延岡市駅前複合施設エンクロスに関する質問」の中で、視聴覚機器(ポータブル CD・DVD プレイヤー)の貸出の案内がある<sup>16</sup>ことより、AV 資料があることが推測できる。

### 3.2 館内マップに表示がない分野

では、館内マップに表示がない分野はどこにいったのであろうか。代表的な分野である文学・文芸書分野を例に、次章において OPAC で探る。

## 4. 資料の検索機能：簡易 OPAC

資料の検索については、「エンクロス」HP 内部の「館内資料をさがす」よりタイトル、著者名等から検索が可能である。インターネットからのアクセスにも対応している。図 1 は「館内資料をさがす」画面である。

図 1 「館内資料をさがす」画面



### 4.1 簡易 OPAC の検索と検索結果

クエリボックスは、一つだけの簡易 OPAC である。検索結果一覧は、1 ページについて 20 件単位の簡易な書誌表示である。

図 2 は、クエリボックスに「栗原 はるみ」と入力した時の検索結果である。

図 2 検索結果一覧

タイトル	著者	区分	出版年
	出版者		背ラベル
おいしくたべよう。	栗原 はるみ著	図書	2010.4
	集英社		料理 037 ク
栗原さんちのおやつの本	栗原 はるみ著	図書	1991.04
	文化出版局		料理 037 ク
(以下、略)			

このように検索結果に表示される情報は、本タイトル、責任表示、出版者、出版年、及び、背ラベル(所在記号)のみの簡易な内容である。

なお、背ラベルの表示「料理 037 ク」は、「料理」がツタヤ図書館の「ライフスタイル分類」の大ジャンルであり、「037」は「料理」の下記区分の記号、「ク」は「クリハラ」の著者記号と類推される。

なお、検索キーに「料理」を入力して実行すると、「検索結果一覧 該当件数は 3780 件です。」と表示され、20 件ずつの表示であり、全件が確認

できた。

全体で2万件の検索対象の蔵書であるので、データベースが対応可能となっていると考えられる。

また、最も検索結果が多いと考えられる「日本」の「日」という1文字検索を実行すると、検索結果が4978件と表示されて、1文字検索にも対応していることが分かる。

## 4.2 子ども OPAC 機能の欠如

一方、「エンクロス」内にキッズスペースを設け、キッズサービスを標榜しているが、子ども OPAC 機能は確認できなかった。

武雄市図書館を始め、先行する「ツタヤ図書館」において提供している子ども OPAC 機能の提供がないことは、疑問を持つ。

約2万件の資料の中で、児童資料の識別可能なデータ入力を省いたのであろうか。

## 4.3 文学・文芸書分野の検索

OPACでの検索に多くの公立図書館では間違いなく所蔵している代表的な著者を選んで検索して見た。以下は、その検索結果である。

### 4.3.1 検索結果がゼロであった著者

検索窓に次の著者名を入れて検索を実行したが、検索結果はゼロであった。

検索したのは、「宮部 みゆき」、「赤川 次郎」、「司馬 遼太郎」、「藤沢 周平」である。

検索システムからは、次のエラーメッセージが表示された。

エラー

いつもご利用ありがとうございます。

検索条件に一致するデータがありませんでした。条件を変えて再検索してください。

通常の公立図書館において、これらの作家の著作を所蔵していないことは考えられない。意図して収集していないと推測される。

### 4.3.2 検索結果の資料ジャンルの偏り

次の著者は検索結果の資料ジャンルに著しい偏りが見られた。

(1)「池波 正太郎」の検索結果は、「江戸前 通の歳時記 料理 163 イ」ほか3件がヒットした。いずれの資料も「料理」のジャンルとしていた。

(2)「村上 春樹」の検索結果は、「雨天災天 旅行 003 ム」ほか2件がヒットした。いずれの資料も「旅行」のジャンルとしていた。

すなわち、両者ともに「文学・文芸書」ジャンルの小説、随筆は検索できなかった。奇妙な「選書」である。

### 4.3.3 検索結果の相違

上記「4.3.2」において、少なくともヒットした2名について、次の検索語を入力した所、検索結果が異なった。

「池波正太郎」、「村上春樹」。すなわち、姓と名を分かつずに検索をした。検索結果は次である。

(1)「池波正太郎」の検索結果は、「池波正太郎が通った<店>/ 馬場啓一著」ほか7件。

(2)「村上春樹」の検索結果は、「Arne/ 大橋歩著」ほか7件。

このように姓と名を分かつずに検索をしたほうが、検索結果が多い。システム的には検索のための対象索引が異なるのであろうが、この検索結果の相違は利用者を惑わす。ほぼバグに近い内容である。早急な改善が望ましい。

## 5. 複合施設「エンクロス」内の「図書空間」の位置づけ

以上を総合すると、複合施設「エンクロス」内の「図書空間」は、第一に蔦屋書店の図書等の商品と一対なものとして構想されていること。第二に「図書空間」の資料は、閲覧利用限定(貸出しはしない)であり、資料のリクエストは受け付けず、寄贈は拒否し、複写サービスは行わない、簡易レファレンス機能もかたちだけ、というようなおよそ図書館の基本的なサービスを資料閲覧以外実施しないという機能である。

すなわち「エンクロス」内の「図書空間」は複合施設の観客誘因施設としての位置づけであり、図書館・室としてのサービス機能は考えられていない。

なお、延岡市立図書館(蔵書33万冊程度)は、中央図書館、北方分館、北浦分室、北側分室で構成

されており、移動図書館「ふくろう号」を運営している<sup>17</sup>。また、こども図書館にあたる機能は、「ほんナビきっず」の名称で財団、大学、企業等の共同研究サイトで提供されている。

これらについては、「7. 補遺：延岡市立図書館」において論述した。

## 6. 複合施設「エンクロス」の位置づけ

以上、複合施設「エンクロス」及びその中の「図書空間」について、そのサービス機能につき通常の図書館、図書室機能との差異を検討してきた。

ここで改めて、複合施設「エンクロス」の延岡市行政における位置づけについて、簡単に確認しておきたい。

### 6.1 第5次延岡市長期総合計画(新市建設計画・新市基本計画)

計画期間は、平成18(2006)年度～27(2015)年度の10年間計画である。『市民力・地域力・都市力が躍動するまちのべおか』を基本コンセプトに据えている。

### 6.2 新生のべおかプロジェクト

計画期間は、平成21(2009)年度～27(2015)年度の7年間計画である。『「賑わい」の再生と「東九州の基幹都市」への機能整備』を基本構想の軸におく。

メインプロジェクトとして、雇用創出・中心市街地・公共交通を置く。ベースプロジェクトとして、地域医療・教育振興・生活環境施設を置く。

### 6.3 延岡駅周辺整備基本計画<sup>18</sup>の概要

内容は、中心市街地活性化基本計画である。担当部局は、商工観光部商業・駅まち振興課である。大手商業施設の相次ぐ撤退、中心市街地地区の人口減少・高齢化進行、地価の下落など、地方都市に共通する課題への対応として計画された。

基本計画の確定後には、市民参加型の「駅まち市民ワークショップ」開催による市民意見の吸い上げ、有識者による「駅まち会議」でのコンセプトの具体化策などの内容を積み重ねてきた。

### 6.4 延岡市駅前複合施設条例

延岡市駅前複合施設条例<sup>19</sup>は、附則「(施行期日)」において、「この条例は、平成30年3月31日までの間において規則で定める日から施行する。」とあり、明らかに「エンクロス」の平成30年4月オープンを考慮した期日を設定している<sup>20</sup>。

この施設「エンクロス」の実施事業を定めているのは、同条例の第3条である。少し分量が多いが、ポイントとなる事項なので、引用で示す。なお、各号の条文の下に、「エンクロス」で対応していると考えられる機能を付記した。

- (1) 市民活動の推進その他地域交流の促進に関すること
  - ・情報発信スペース
  - ・Free Wifi
  - ・物品販売
  - ・キッチンスペース
  - ・市民活動の登録
  - ・イベント、ワークショップの開催
- (2) 図書その他の資料の閲覧に関すること
  - ・「図書空間」(なぜか、名称がない)
- (3) 飲食の提供に関すること
  - ・スターバックスコーヒー
- (4) 市民活動、地域特産品その他市政に関する情報の収集及び提供に関すること
  - ・情報発信スペース
  - ・市民活動の登録
  - ・NOBEOKA 100mile project
- (5) 子育て中の親とその子どものための交流及び集いの場の提供に関すること
  - ・キッズスペース
  - ・イベント、ワークショップの開催
- (6) 公共交通機関を利用する旅客の待合の提供に関すること
  - ・待合スペース
- (7) 前各号に掲げるもののほか、前条の設置目的を達成するために市長が必要と認める事業に関すること。
  - ・蔦屋書店

このように「延岡駅前複合施設条例」は、指定管理者に選定されたCCCの施設提案内容をなぞったものとなっている。

「図書空間」(なぜか、名称がない)については、「図書その他の資料の閲覧に関すること」と明確に閲覧サービス限定が、条例に明記されている。

これから、複合施設「エンクロス」の各種場所、機能は条例に根拠を持つが、その内の「図書空間」は、決して条例設置の公立図書館ではないことが明らかである。

## 7. 補遺：延岡市立図書館

本稿では、延岡駅前複合施設「エンクロス」を巡る開館延期騒動を序章で扱い、さらに「エンクロス」内の「図書空間」という奇妙な空間について論じた。

ここで、補遺として、既存の延岡市立図書館の概要、運営システム、児童図書館機能等について整理し、提示することで、「エンクロス」内の「図書空間」の相対位置の理解の一助としたい。

宮崎県延岡市立図書館(蔵書 33 万冊程度)は、本館、北方分館、北浦分館、北川分館で構成されており、移動図書館「ふくろう号」を運営している<sup>21</sup>。

また、こども図書館にあたる機能は、「ほんナビきっず」の名称で財団、大学、企業等の共同研究サイトで提供されている。後に詳しく評価する。

### 7.1 延岡市立図書館の概要

延岡市立図書館本館は、鉄筋コンクリート 3 階建、蔵書数 33 万冊、雑誌 124 種、新聞 12 種、開架コーナー(1F)、団体・移動図書館室(2F)<sup>22</sup>、閉架書庫(3F)等を有する。

立地場所は、JR 日豊線延岡駅からバス 7 分、徒歩 10 分のところである<sup>23</sup>。

### 7.2 蔵書検索・予約システム

蔵書検索・予約システムは、簡易検索モードと詳細検索モードを提供している。

簡易検索モードは、フリーキーワード方式の検索である。複数のキーワードを入力するには、全角スペースで区切る。

詳細検索モードでは、タイトル、巻次、著者、出版者、叢書名、一般注記、内容、個人件名、一般件名、学習件名、内容細目、分類、及び ISBN での検索ができる。

内容、学習件名等がサポートされていることか

ら、民間 MARC を導入していることが類推できる。

出版年は、範囲指定検索の要素である。対象資料の指定は、図書、雑誌、AV の 3 区分である。対象館の指定は、延岡市立図書館及び 3 分館—北方分館、北浦分館、北川分館—と移動図書館(BM)が指定できる。

### 7.3 新着 / 新刊検索システム

延岡市立図書館のウェブページでは新着 / 新刊検索システムを提供している。検索区分として新着検索システムでは、1 週間 / 2 週間 / 1 ヶ月 / 2 ヶ月の範囲指定が可能である。新刊検索システムでは、1 ヶ月 / 2 ヶ月 / 6 ヶ月 / 1 年の範囲指定が可能である。

両検索共に、検索対象ジャンルを次の 18 区分から指定する。区分肢は NDC の類項目を幾分アレンジした内容である。

表 2 18 区分の検索対象ジャンル

総記・哲学・心理・宗教	歴史・伝記
地理・旅行	政治・法律・経済
社会・教育・民俗学・軍事	自然科学・動植物・医学
工業・コンピュータ	家庭・手芸・料理・育児
産業	芸術・スポーツ・趣味
言語	文学一般・日本文学
外国文学	郷土資料
子どもの本	雑誌
視聴覚資料	小説

海老名市図書館から徳山駅前図書館までの 4 図書館における「ツタヤ分類」と比較しても十分に遜色がない区分である。再掲ではあるが、表 3 にツタヤ図書館システムの 29 区分を示す。

表 3 ツタヤ図書館システムの 29 区分

料理	政治・国際
旅行	社会
住まいと暮らし	法律
美容・健康	IT
ファッション	自然科学
スポーツ・アウトドア	産業

趣味実用	技術
人文	建築
児童書	医療・看護福祉
語学・参考書	教育
文学・文芸書	雑誌
歴史・郷土	コミック
アート	洋書
経済	AV 資料
ビジネス	

また、ヒット件数を絞り込むには、検索結果集合に対してキーワード検索を使用する。

なお、新聞は別途に「購読新聞一覧」が示されている。『朝日新聞』ほか 8 紙が継続購入されている。地方紙の『宮崎日日新聞』、『夕刊デイリー新聞』は、「郷土資料として永年保存」と広報している。

また、「新聞は新聞コーナーに最新版から 5 か月分置いてあります。それ以前のは、職員にお尋ねください。」と表示しており、丁寧な説明と言えよう。

## 7.4 「ほんナビきっず」

延岡市立図書館のトップページの左下の「ほんナビきっず」のリンクボタンがある。クリックすると「ほんナビきっず」のページに移動する<sup>24</sup>。

「ほんナビきっず」は、すべての子どもに本との出会いをナビゲートする応援サイトです<sup>25</sup>。

以下に、「ほんナビきっず」のコンテンツの概要をまとめる。

### 7.4.1 キャベツくんとブタヤマさんのほんナビきっず

二人がバスにのって本探しの旅に出かけるコンテンツである。音楽付きの Adobe Flash の動画である。

### 7.4.2 思いついたことばでさがす

「思いついたことばでさがす」を選択すると、画面が変移する。画面の左側に「本の種類」を選択する枠がある。チェックボックスを選択するこ

とで、下表の 8 つの本の種類が指定できる。複数指定も可能である。

表 4 「ほんナビきっず」の本の種類

絵本、低学年よみもの、中学年よみもの、 高学年よみもの、詩、画集、伝記、知識の本
---

コンテンツを選択し、画面の中央の入力窓にソフトキーボードで文字入力をする。また、探し方として、思いついたことば、本のなまえ、書いたひとの 3 種類から指定ができるようになっている。キーワード検索、タイトル検索、著者検索機能である。

### 7.4.3 ことばをえらんでさがす(1~3年生)

「ことばをえらんでさがす」を選択すると、階層構造で検索を絞っていく 3 つのボックスの提示された言葉をマウスで選択する仕組みである。

第一段階は、「あそぶ」、「ばしょ」、「どきどきものがたり」など 14 の語彙が示される。

仮に「あそぶ」を選択すると、第二段階では、「ごっこあそび・ゆびあそび」等の計 8 つの語彙が示される。仮に「ごっこあそび・ゆびあそび」を選択すると、次の表示が現れる。

ぜんぶ[52 さつ]

じゃんけん[3 さつ] ほか 5 件の表示

これらからどれかをクリックすると書誌が表紙と共に表示される。そしてそこからタイトルや表紙をクリックすると、書誌詳細や本のあらすじが表示される仕組みとなっている。

### 7.4.4 ことばをえらんでさがす(4~6年生)

「ことばをえらんでさがす(4~6年生)」を選択すると、画面が変移する。システムの振る舞いは、低学年用と同一である。相違は、選択段階が 4 段階になっている点だけである。

## 7.5 小考察

以上、検討を進めてきたように、延岡市立図書館(網)は、公立図書館としての運営システム、機



能等を充足し、活動している。

故にこそ、新設された「エンクロス」内の「図書空間」の特殊さが浮かび上がる。

## 8. さいごに

延岡市駅前複合施設「エンクロス」は、2018年4月13日にオープンした。筆者たちは、「エンクロス」内には、蔵書数約2万冊の「図書室」が延岡市立図書館の分館として開室されるのであろうと推測をしていた。

しかし、実際に「エンクロス」HPの「延岡市駅前複合施設エンクロスに関する質問」を精査すると、延岡市立図書館網とは連携していない存在である。

貸出、レファレンス、リクエスト、文献複写等の図書館サービスは行わない旨が明示されている。

このように「エンクロス」内の「図書空間」は複合施設の観客誘因施設としての位置づけである。

具体的な情報が確認できなかったが、「図書空間」の配置は、何らかの国等の地域活性化補助金の確保に、「公共的、文化的」施設の並置が必要であったのかもしれない。

また、見方を変えれば、蔦屋書店、スターバックスコーヒー、図書館という三位一体モデルに対して、多くの人手と維持予算がかかる図書館運営を、極限まで疑似的に「図書空間」として置き換える新たな「ツタヤ・ビジネスモデル」の試みかもしれない。

なお、一般社団法人延岡観光協会は、オフィシャルサイトにおいて、2階の書店、及び、「図書空間」について、次のように全体をブックストア「蔦屋書店」として紹介している<sup>26</sup>。

注目は、書店と図書館を融合させたようなブックストア「蔦屋書店」。好みの書籍をゆっくりと閲覧することができ、また、併設するコーヒーショップ『スターバックスコーヒー』のドリンクとともに、憩いのひとときを過ごすことができます。

「エンクロス」の今後の展開に引き続き注目したい。

## 引用文献

<sup>1</sup> 代表的な批判に次がある。

田井郁久雄「海老名市立中央図書館の問題は何か～図書館と書店、CCCとTRC」『談論風発』Vol.10 No.2, 2015.10, p.1-5.

田井郁久雄「虚像の民営化『ツタヤ図書館』」『世界』No.876, 2015.12, p.196-205.

また、『みんなの図書館』466号2016年2月では「ツタヤ図書館」の特集をしている。合わせて参照されたい。

<sup>2</sup> 武雄市図書館

<https://www.epochal.city.takeo.lg.jp/winj/opac/to.p.do> [確認：2018年4月20日]

<sup>3</sup> 海老名市立図書館

<https://ebina.city-library.jp/library/ja> [確認：2018年4月20日]

海老名市立図書館は複数館で構成されている。OPACと図書館全体での共通システムでは、海老名市立図書館と表記し、委託対象の中央図書館については海老名市立中央図書館と表記した。

<sup>4</sup> 多賀城市立図書館

<https://tagajo.city-library.jp/library/ja> [確認：2018年4月20日]

<sup>5</sup> なお、多賀城市は図書館の移転及び運営形態の変更について以下のようにコメントしている。

現在の図書館は、施設が手狭で必要なサービスが提供できないこと、老朽化により利用者にとって優しい空間とはなっていないこと、図書の貸出サービスを中心として整備された施設であり限定的なサービスの提供に偏っていること、さらには立地条件と交通アクセスの課題を抱えていることなどから市民利用率が1割ほどに止まっており、利用者の固定化が払拭できない状況となっています。図書館は、より多くの市民に利用されてこそ、その真価を発揮します。

移転後の図書館は、管理・運営形態とも常に利用者の視点に立ち、来館しやすい環境の整備や居心地の良い場と空間を創出するなど、新たな取組やサービスによって全ての市民に親しまれ利用される施設になることを目指し「本と人との出会い」をテーマに「本と人」をつなぐことで「人と人」をつなぎ、豊かな文化活動の交流拠点として地域社会と市民生活の発展に貢献します。

また、CCCの高橋聡図書館カンパニー長は現地での記者会見で、新図書館の経済効果は年間約50億円と発表している。産出根拠は示されて

いない。

『河北新報』 3月21日(月)10時11分配信  
[http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201603/20160321\\_12023.html](http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201603/20160321_12023.html)  
[確認: 2018年4月20日]

6 高梁市立図書館

<https://takahashi.city-library.jp/library/>  
[確認: 2018年4月20日]

高梁市立図書館は、高梁市図書館、成羽図書館、有漢図書室、川上図書室、備中図書室及び移動図書館から構成されている。

立地場所は、JR 備中高梁駅に隣接している。鉄道でのアクセスは、特急列車で岡山駅から約35分、倉敷駅から約20分、普通列車で岡山駅から約60分、倉敷駅から約35分である。ただし、JR 伯備線は、概ね1時間当たり、特急列車1本、普通列車2本程度である。

2階は、備中高梁駅とつながっており、蔦屋書店、スターバックスコーヒー及び観光案内所がある。3階が(一般)図書室と学習室、4階は児童書、読み聞かせスペース、多目的室が配置されている。

開館時間は、9:00~21:00である。

7 周南市立徳山駅前図書館

[https://shunan.ekimae-library.jp/ja/library\\_search/conditions](https://shunan.ekimae-library.jp/ja/library_search/conditions)  
[確認: 2018年4月20日]

8 encross

<https://encross-nobeoka.jp/ja>  
[確認: 2018年4月20日]

9 「TSUTAYA 図書館は何を目指すのか? CCC の責任者が語る現状と『未来』」2015年11月12日『HUFF POST Society』

<http://www.huffingtonpost.jp>  
[確認: 2018年4月20日]

同記事は、2015年11月11日、横浜市で開催された第17回図書館総合展のフォーラムでのCCCの図書館カンパニー長の高橋聡氏の発言である。

なお、フォーラムの記録動画は、次を参照。

<http://www.libraryfair.jp/forum/2015/1852>  
[確認: 2018年4月20日]

10 「エンクロスについて 1. エンクロスのコンセプト」

<https://encross-nobeoka.jp/ja/guide>  
[確認: 2018年4月20日]

11 「よくある質問」

<https://sp.encross-nobeoka.jp/ja/faq-page>  
[確認: 2018年4月20日]

12 延岡市図書館 Top ページ

<http://www.lib.city.nobeoka.miyazaki.jp/>  
[確認: 2018年4月20日]

13 字義どおりの屁理屈では、禁止されていないのは、ハンデイスキャナー利用だけであるが、文言の主旨からすれば、やはり、禁止であろう。

14 「NOBEOKA 100mile project」

東九州の交通結節点として、地域情報の発信に力を入れています。地域のチラシや情報掲載をご希望の方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問い合わせください。地域で活躍される人や物産品にスポットを当ててご紹介を行っています。

15 「館内マップ」

<https://encross-nobeoka.jp/ja/access>  
[確認: 2018年4月20日]

16 「よくある質問」

<https://encross-nobeoka.jp/ja/faq-page>  
[確認: 2018年4月20日]

「延岡市駅前複合施設エンクロスに関する質問」→「インターネットやパソコン、視聴覚機器の利用について」において、視聴覚機器(ポータブルCD・DVD プレイヤー)の貸出の案内がある。

17 延岡市立図書館 TOP ページ

<https://www.lib.city.nobeoka.miyazaki.jp>  
[確認: 2018年4月20日]

18 「延岡駅周辺整備基本計画の概要」(9p.)

[www.city.nobeoka.miyazaki.jp/tempimg/110411132951201109151052550f.pdf](http://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/tempimg/110411132951201109151052550f.pdf)  
[確認: 2018年4月20日]

19 「延岡市駅前複合施設条例」

[www.city.nobeoka.miyazaki.jp/tempimg/151013161439201601271835090f.pdf](http://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/tempimg/151013161439201601271835090f.pdf)  
[確認: 2018年4月20日]

20 2018年4月1日に開館する予定であったが、新市長が委託経費の費用効果費を検討するために、6月までの「凍結」を表明した。しかし、市議会の猛反発を受けて、方針の撤回を余儀なくされた。

『毎日新聞』毎日新聞2018年3月20日 地方版宮崎県

<http://mainichi.jp/articles/20180320/ddl/k45/010/343000c>

[確認: 2018年4月20日]

「延岡市議会予算委「エンクロス」来月開館へ 市長、動議受け入れ」

延岡市が3月定例会で提案したJR延岡駅前複合施設「エンクロス」の開館を延期する条例改正案をめぐる、読谷山洋司市長は、19日の市議会予算審査特別委員会(内田理佐委員長)で「延期は認

めない」とする同委員会の動議可決(14日)について受け入れを表明した。「社会実験として4月のできるだけ早いうちに開館する。費用対効果の検証は指定管理者と協議しながら継続する」と述べた。

エンクロスは、ビデオレンタル「ツタヤ」を展開するCCC(カルチャ・コンビニエンス・クラブ)を指定管理者に4月1日の開館予定だった。しかし市長は「年間の運営管理費が1億3500万円と高額。費用対効果の検証が必要」として、6月以降まで開館延期を明言していた。

14日に可決された同委員会の動議は「多くの市民が関わり準備してきた。事業継続性や市民の期待などを考慮すると、予算計上は欠かせない」とした。

同じく当初予算案に盛り込まれなかった子育て支援施設「子どもの城(仮称)」建設に関して「対象年齢層を広げて活用できる施設へ拡充を図りたい」として予算計上しなかった件も、市長は事業継続要請を受け入れた。

読谷山市長はエンクロスの早期開館と子どもの城建設の事業継続を受け入れたことについて「委員28人のうち24人が賛成し可決したので受け入れた。22日の最終本会議での再提案も含め、今後の対応を考えたい」と話した。

<sup>21</sup> 延岡市立図書館 TOP ページ

<https://www.lib.city.nobeoka.miyazaki.jp>  
[確認：2018年4月20日]

<sup>22</sup> 団体・移動図書館室が独立して設けられていることは珍しい。

<sup>23</sup> [延岡市立図書館] 交通案内

<http://www.lib.city.nobeoka.miyazaki.jp/>  
[確認：2018年4月20日]

○JR 日豊線延岡駅下車

○延岡駅からバス7分

『イオン延岡ゆき』

『保健福祉大学ゆき』

(市役所前下車)

○市役所前バス停から徒歩10分

○まちなか循環バス

『図書館前』下車

開館時間

○火曜日から金曜日

午前9時から午後7時まで

○土曜日・日曜日・祝日

午前9時から午後5時まで

休館日

○毎週月曜(祝日を除く)

○年末年始

○毎月第1金曜(6月を除く)

○特別整理期間(6月中に2週間程度)

<sup>24</sup> 延岡市立図書館

<http://www.lib.city.nobeoka.miyazaki.jp/>  
[確認：2018年4月20日]

<sup>25</sup> 次の表記がある。

当サイトは、一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団、筑波大学 図書館情報メディア研究科、株式会社 富士通システムズアプリケーション & サポートの共同研究として作成されました。

<sup>26</sup> 一般社団法人延岡観光協会[オフィシャルサイト]

[http://nobekan.jp/cms/nta\\_blog/nobeoka\\_encross\\_open0413/](http://nobekan.jp/cms/nta_blog/nobeoka_encross_open0413/) [確認：2018年4月20日]

[2018年4月30日受理]